

環境厚生常任委員会委員長報告

H26.3.20

環境厚生常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、第2号議案、平成26年度国民健康保険事業特別会計予算であります。国民健康保険被保険者の疾病等に関して必要な保険給付を行うための経費として、療養給付費、高額療養費が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第4号議案、平成26年度休日診療事業特別会計予算であります。休日急病者に対する診療事業を行う経費であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第6号議案、平成26年度介護保険事業特別会計予算であります。介護サービス給付事業及び介護予防事業を行うための経費が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第7号議案、平成26年度後期高齢者医療事業特別会計予算であります。後期高齢者医療制度に伴う事業を行うための後期高齢者医療広域連合納付金が主なものであります。

採決に先立ち、反対討論として、軽減基準所得の引上げにより軽減対象者は拡大されるものの、保険料は2年毎に引き上げられているとの指摘がありました。

採決の結果は、多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第12号議案、平成26年度病院事業会計予算であります。医業費用が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第52号議案、循環型社会推進条例の一部改正については、し尿処理費用の受益者負担の原則に基づき、し尿くみとり手数料を改定すること、不燃物の指定ごみ袋に15リットルの小型袋を新たに設けるものであります。

採決に先立ち、し尿くみ取り手数料改定に関し、消費税増税など様々な値上げがされるなかでの値上げは納得できないとの反対討論が、また、賛成討論として、し尿くみとり量は

減少しており、細やかな料金体系で負担の公平を図ることはやむを得ないとの意見がありました。

採決の結果は、多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第75号議案、国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の賦課限度額を改めるとともに、保険料を減額する5割軽減基準と2割軽減基準を見直し、保険料の軽減対象の拡大を行うものであります。

採決に先立ち、反対討論として、賦課限度額の引上げは保険料の値上げにつながるとの指摘がありました。

また、賛成討論として、軽減対象も拡大されていることから賦課限度額引上げもやむを得ないとする意見がありました。

採決の結果は、多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、本委員会に付託されました請願について、審査経過と結果を報告いたします。

受理番号2、京都府中部地域（児童養護施設青葉学園）に「児童家庭支援センター」を設置することに関する請願は、

「児童家庭支援センター」を児童養護施設青葉学園に設置することを求める内容であります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって、採択すべきものと決定し、京都府に対して意見書案を提案することとしました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告といたします。

病院事業会計補正予算

亀岡市立病院に太陽光発電システムを設置

災害発生時の避難場所を整備するにあたり、環境負荷の少ない設備である太陽光発電を京都府の「避難施設等緊急時電力確保促進事業補助金」を活用して1200万円の事業費により設置するもの。

災害発生時に市立病院の1階ホールをトリアージ(※)や避難の場所として整備するなかで、太陽光パネル20枚を1階の屋根に設置。約5キロワットの発電を蓄電池に貯めておき、その電力でテレビやポット、電話機の充電などができるようにするもの。9月完成予定。

※トリアージとは…災害などで多数の傷病者が出たときに、最善の治療を行うため、緊急度に応じて搬送や治療の優先順位を決めることです。

請願審査

京都市中部地域に「児童家庭支援センター」を設置する請願を採択

〈請願の内容〉

児童養護施設青葉学園は、要保護児童の生活と権利を守る地域拠点として運営されているが、受託事業や協議会参画などの協力を留まっている。

京都市中部地域においても、深刻な児童虐待事例が起きており、青葉学園が地域と密接につながり「地域に開かれた相談窓口」「子育て支援サービス」の拠点として役割を果たせる機能を

整備するため「中部地域児童家庭支援センター(仮称)」の早期設置について、京都市に対し働きかけることを要望するもの。

児童虐待防止には、専門的・高度な相談機能を持つ児童家庭支援センターが有効な役割を担うとして、請願を採択し、京都市への設置要望の意見書案を提案することとしました。

Grid of empty boxes for form completion.